

令和3年度 所蔵資料展

路面電車と新宿風景

Tram and scenery of Shinjuku

2022 1.15 SAT▶ 4.3 SUN



靖国通り 新宿駅前 停留場 (昭和20年代)

nostalgia

新宿区立
新宿歴史博物館
Shinjuku Historical Museum



江戸期以来、新宿は江戸市中と地方を結ぶ結節点として発展し、街の拡大とともに道路や公共交通機関も整備されました。その一つである路面電車の歴史は古く、馬車鉄道から民間路面電車に引き継がれ、明治44年(1911)、東京市電気局が開局し、都電の前身である東京市電が誕生しました。路面電車は開局当初から東京市民の足として活躍し、新宿に暮らした文学者が残した作品の中にもしばしば登場します。しかし、昭和40年代に入ると車社会の発達や地下鉄建設等に伴い、ほとんどの路面電車の路線が廃止となりました。現在では都電荒川線として、三ノ輪橋から早稲田の区間だけが残っています。

本展では、新宿にゆかりの深い路面電車を取り上げ、その歴史を写真と資料で紹介します。



靖国通り 昭和23年(1948)



東京市電に乗る林芙美子(戦前)



新宿通り 追分付近 昭和40年(1965)頃



四谷見附橋新宿方向をのぞむ 昭和25年(1950)頃

■第1章 東京の路面電車の歴史

5期の時期区分(黎明期、黄金期、激動期、暗黒期、終焉期)を設け、時間の経過とともに変わりゆく新宿の風景と路面電車の歴史を写真と資料で紹介します。

黎明期 馬車鉄道から東京市電気局誕生前まで

黄金期 東京市電気局誕生から関東大震災まで

激動期 関東大震災から第二次世界大戦終戦まで

暗黒期 終戦から高度経済成長期前半まで

終焉期 高度経済成長期後半から廃線撤去まで

■第2章 路面電車と文学

新宿に暮らした夏目漱石、林芙美子、高田敏子らの文学者が、当時の路面電車の様子を描写した作品を写真とともに紹介します。

■第3章 路面電車廃線の旅

かつて新宿区内を走行していた路面電車を写真と資料で紹介いたします。

会期 令和4年1月15日(土)～4月3日(日)
午前9時30分～午後5時30分(入館は5時まで)

休館日 1月24日(月)・2月14日(月)・28日(月)
3月14日(月)・28日(月)

会場 新宿区立新宿歴史博物館 地下1階 企画展示室

主催 公益財団法人新宿未来創造財団

協力 東京都交通局

観覧料 無料

※関連イベントについては博物館ホームページをご覧ください。



新宿区立
新宿歴史博物館
Shinjuku Historical Museum
Tel.03-3359-2131 / Fax.03-3359-5036
指定管理者：公益財団法人新宿未来創造財団
<https://www.regasu-shinjuku.or.jp/rekihaku/>

- JR 東京メトロ丸ノ内線・南北線「四ツ谷駅」下車……徒歩10分
- 東京メトロ丸ノ内線「四谷三丁目駅」下車……徒歩8分
- 都営地下鉄新宿線「曙橋駅」下車……徒歩8分



新宿歴史博物館
☎03-3359-2131
四谷三栄町 12-16